

TARC

Thymus and Activation-Regulated Chemokine (系統的名称としてCCL17)

検体検査実施料

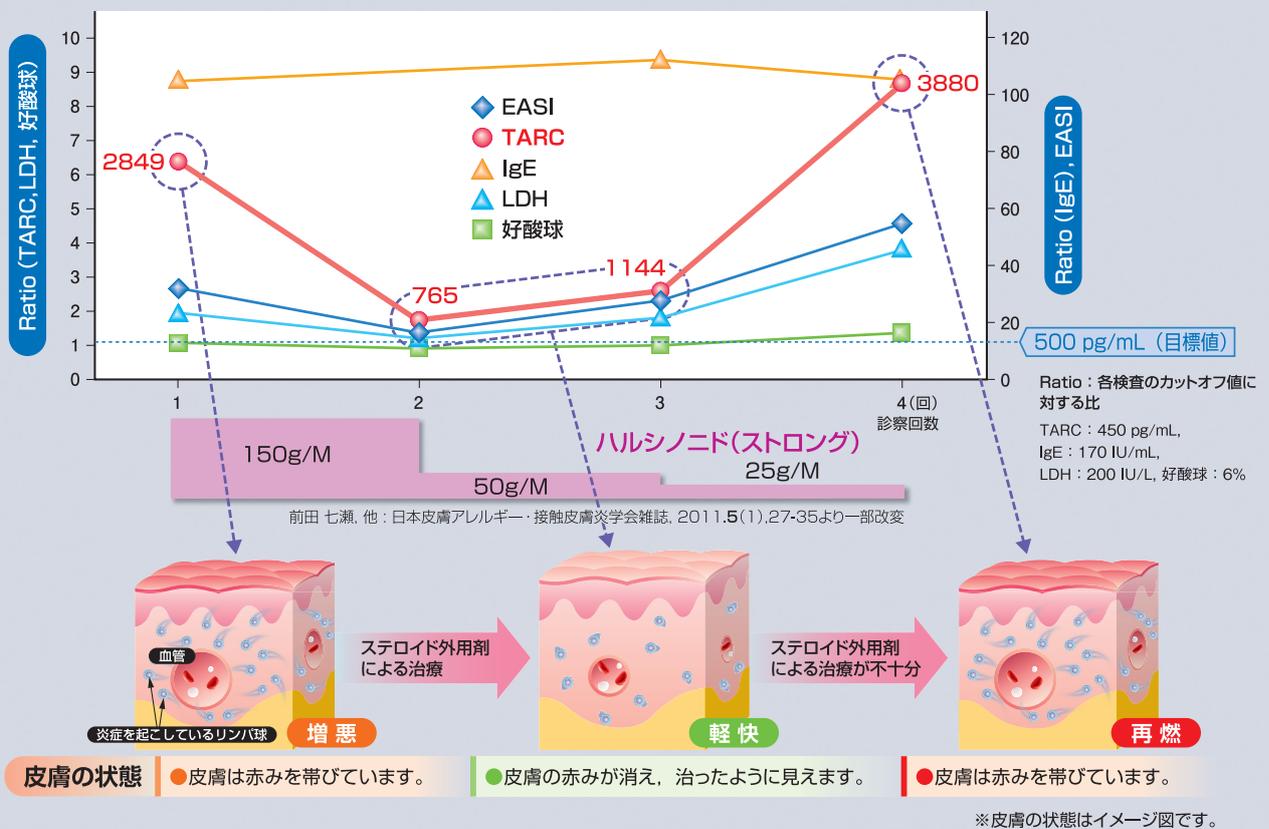
194点

(2014年4月現在)

血清 TARC 値が目標値の 500 pg/mL 以下にならない段階でステロイド外用量を減らしてしまい皮膚症状が悪化した症例

症例：39歳 男性（アトピー性皮膚炎）

図中の数字は血清 TARC 値 (単位：pg/mL)



増悪時、皮膚の状態も良くなかず、血清 TARC 値は 2849 pg/mL と高値であったため、強力なステロイド外用療法を開始した。次回の診察時には、皮膚症状は軽快し、血清 TARC 値も 765 pg/mL と低下したため、ステロイド外用量を減量した。次々回の診察時も、皮膚症状は軽快を維持しており、血清 TARC 値は若干上昇していたが、さらにステロイド外用量を減量した。その後、皮膚症状は再燃してしまい、血清 TARC 値は 3880 pg/mL まで上昇した。

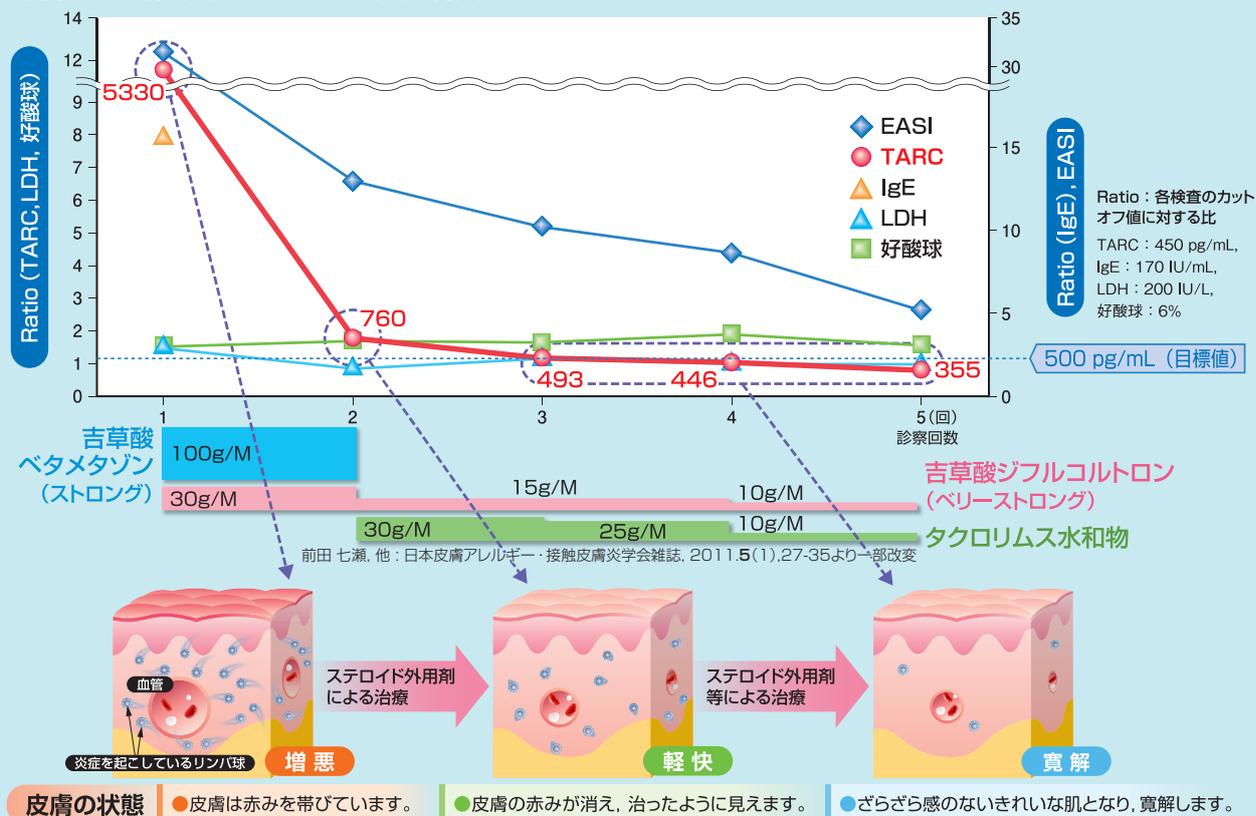
血清 TARC 値を目標値の 500 pg/mL に低下させ、推移させるようにフォローすることが大切

症例提供と監修：大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 皮膚科主任部長 片岡葉子 先生

血清 TARC 値を目標値の 500 pg/mL 以下で推移するようにステロイド外用量の漸減を行い、皮膚症状の安定を維持できた症例

症例：28歳 女性（アトピー性皮膚炎）

図中の数字は血清 TARC 値 (単位：pg/mL)



増悪時、顔面が重症で、血清 TARC 値は 5330pg/mL と高値であったため、ステロイド外用療法について説明し、理解を得て治療を開始した。
 次回の診察時では、血清 TARC 値は 760pg/mL と低下し、皮膚症状も軽快してきたが、血清 TARC 値が目標値の 500pg/mL 以下になっていないことから、ステロイド外用剤等による治療を継続した。
 次々回の診察時には、血清 TARC 値は 493pg/mL と目標値の 500pg/mL 以下となり、皮膚症状も軽快を維持していた。
 その後も、血清 TARC 値が 500pg/mL 以下で推移していることを確認しながら、ステロイド外用量を減らしつつ、皮膚症状も寛解を維持できた。
 TARC 検査はステロイド外用療法の減量の見極めを行う際のツールとして有用であった。

血清 TARC 値を目標値の 500 pg/mL に低下させ、推移させるようにフォローすることが大切

症例提供と監修：大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 皮膚科主任部長 片岡葉子 先生

検査要項

| 項目コード | 検査項目 | 材料 | 検体量 | 容器 | 保存条件 | 所要日数 | 検査方法 | 基準値 | 診療報酬区分番号 | 保険点数 | 保険収載名称 |
|-------|------|----|-------|-------|------|------|--------|--|----------|------|--------|
| 7171 | TARC | 血清 | 0.3mL | A1→A2 | 冷蔵 | 2~3日 | CLEIA法 | 小児(6~12ヶ月):1367未満 小児(1~2歳):998未満 小児(2歳以上):743未満 成人:450未満 pg/mL | DD15-18 | 194* | TARC |

* TARCは、血清中のTARC量を測定する場合に月1回を限度として算定できる。

※九州、沖縄地区の所要日数は3~4日です。

検査受託先

シスメックス株式会社

本社 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 〒651-0073
国内事業推進本部 Tel 078-992-6124

www.sysmex.co.jp

FALCO biosystems